



みなさん、お元気ですか。ブルキナファソでは雨季も終盤。最近は何かに雨の降る頻度も減ってきて、「え、もう雨季終わり?」という感じです。ようやく始まったという雨季でしたが、あっという間に長い長い乾季に入ってしまうようです。そして来月からはよいよ学校が新学期スタートします。最近、街で文房具販売セールを行う商店をよく見かけます。

## Quoi de neuf? ▶▶▶ マリ難民キャンプで、子どもたち向けの遊びプログラムを行いました。

ブルキナファソの隣国、マリ共和国。ここでは昔から、トゥアレグ族がマリ政府に対し北部地域(アザワド)の独立・自治を主張しており、2007年頃からトゥアレグ族反政府勢力の動きが活発化。2012年には政府と反政府勢力間でマリ北部紛争が起こり、多くの住民が「難民」として隣国に逃げてきました。ブルキナファソでもUNHCRが3カ所にマリ人難民キャンプを設け、現在でも3万人ほどの難民の支援を行っています。

簡易テントで生活して約3年。難民たちに世界から多くの援助がなされ、平和な生活を送ることができるようになりましたが、限られた敷地内で娯楽や学びの機会がとて少ない現状。心に傷を負った子どもも少なくありません。今回は、そんな子どもたちに遊びを提供して新しい体験をしておうと、隊員が約3週間に亘り、スポーツ、ダンス、アート・・・様々なプログラムを実施しました。わたしは衛生啓発グループとして、プラスチックゴミを使ったボールづくり、手洗いソング、手形アート、シャボン玉遊びを企画。約60名の子どもたちが、元気いっぱい、各プログラムに参加してくれました。

難民キャンプは、想像以上にテントやトイレ等の設備が整っており、援助機関が組織化する様々な委員会によってキャンプ内も清潔に保たれる等、現場の方たちの努力が伺えました。しかし、難民の方の話の中で、「これまでたくさんの支援が来ていたが、最近はその機会が少なくなってきて退屈な毎日」を過ごしている。子どもたちに遊びの機会を提供してくれることは本当に嬉しいとの声がありました。物が十分に見えても、彼らに必要なのは心も健康に暮らすこと。子どもたちと触れる中で感じたのが、人に飢えているのではないかと、そしてみなで共同作業する機会が少ないのではないかと。彼らは物で遊ぶことそのものよりも、私たちとの交流を楽しんでいるようにも感じました。難民となり地域コミュニティが失われた今、限られた敷地の中で心の安らぎや成長につながるような、みなが一つのことを一緒にしたり交流したりする時間が彼らにとっては大切なのだと感じました。難民キャンプをまた別の視点から考えることのできる貴重な機会でした。



キャンプ内の様子。世帯ごとにテントに暮らす。

ボール捨ててもいいのかな? OX形式でクイズを出題。

チョークの粉と小麦粉で、絵の具なしの手形アート。

日本から届いた鍵盤ハーモニカも寄付されました。

## Qu'est-ce que c'est? ▶▶▶ 日本と違う? ブルキナファソの公務員制度

ブルキナファソではエリートである公務員。日本とちょっと異なる、公務員になるための過程をご紹介します。

### ●●公務員試験制度●●

日本では試験の時時点で分野、職種を決めてそれに関する専門知識を個人的に勉強し、一般教養と専門分野の2つから出題されます。つまり、試験勉強の間に専門知識も身につく、というもの。一方で、ブルキナファソはどんな分野・職種でも出題範囲は一般教養のみ。自分で受けたい省庁を決め(複数受験可)勉強しますが、どれも同じ範囲でOKです。ちなみに、各省庁とも役職(階級)がいくつかわかれており、大卒資格や高卒資格の有無で、受けられる役職は異なります。それぞれ省庁を選ぶとともにその中で役職も決めて受験するのです。

### ●●合格後に身に付く豊富な専門知識●●

合格後、入職式があって配属部署発表!と思いきや、すぐに働き始めるわけではありません。上記のように、試験時に専門知識を求められなかった分、合格後に「研修期間」があります。それも、2~3年間という長さ。各省庁は研修施設を持っており、そこで寝食ともにしながら専門分野をとことん学びます。役職ごとにクラスが分かれており、下の階級であれば寝床は30人で一部屋(せまい!)。この研修の最後には卒業試験があり、それに合格して初めて配属先が決まり、仕事をスタートします。このため、ブルキナファソの公務員は専門知識がとても豊富で感心するばかり。ほとんどの省庁が高卒または中卒資格があれば受験できるということもあり、この長い長い研修期間は、日本の大学のような役割(専門性を深める場所)なのかもしれません。ちなみに入職後、昇格試験を受けることができますが、それに受るとまた研修施設に戻り2~3年の研修を受けるのです。研修中は減額はありますが、給与ももらえます。なお、ブルキナファソの公務員の異動は希望性。自分が希望しない限りずっと(基本は)同じ部署ですが、希望すれば好きな地域に異動できるので、うらやましいですね。昇格試験は高卒資格をもっていれば働いて3年、中卒資格なら5年経てば受けることができます。

### 研修カリキュラム (“環境技術者”の場合: 2年間)

※数字はコマ数 《専門教養》

《一般教養》	植物システム	20
フランス語	社会学	30
英語	測量	20
地理・歴史	土地所有権	20
数学	森林環境刑事手続き	20
物理・化学	環境刑法	20
《特別教養》	《専門》	
生物	上下水管理	30
森林生態学	廃棄物処理	20
動物生態学	大気汚染	20
農業	土壌汚染	20
土壌学	環境衛生	20
民法	情報通信	20
経営	園芸・景観整備	20
	環境・水に係る法律	30



トータル775コマ!

### 現場での実習も豊富



環境省研修施設(日本の援助で建設)



金の探掘現場の見学



測量実習



ソルガム(モロコシ)畑の中で元気に遊ぶ子どもたち。

## クイズ du Burkina

- Q1. 日本で生まれたばかりの子を「赤ちゃん」と呼びます。では、ブルキナファソでは現地語で赤ちゃんのことを何と呼ぶでしょう?  
ヒント: 「OOいろの子ども」 ※ある色が入ります。
- Q2. ブルキナファソでは、人の写真をプリントしたTシャツを来ている人がたくさん(右写真参照)。しかも、それぞれ違う人ようです。いったい誰なのでしょう?
- Q3. 学校での環境教育活動のため、これは役立つだろう!と思って日本から持ってきたのですが、使えなくてショックを受けたものがありました。次のうち、どれでしょう?  
①水性マーカーペン ②磁石 ③ハサミ



## Ensuite? ▶▶▶ 街角職人インタビュー。街にはどんな仕事があるのでしょうか?

ブルキナファソには様々な職人がいます。街にはどんな仕事があるのでしょうか? 街角でインタビューを行いました。